

# 令和6年度事業報告書

社会福祉法人 やまどり福社会

# 目 次

|                                  |          |
|----------------------------------|----------|
| I. 決算監査、理事会並びに評議員会               | ・・・P. 1  |
| 1, 決算監査                          |          |
| 2, 理事会                           |          |
| 3, 評議員会                          |          |
| II. 会議等への参加並びに地域交流               | ・・・P. 2  |
| III. 特別養護老人ホームあすなろの取り組み課題に対する反省  | ・・・P. 3  |
| 各ユニットの年間目標に対する実績と反省（評価）          | ・・・P. 5  |
| 各職種の年間目標に対する実績と反省（評価）            | ・・・P. 6  |
| 1, 介護主任・副主任                      |          |
| 2, 生活相談員・介護支援専門員                 | ・・・P. 7  |
| 3, 看護師                           | ・・・P. 7  |
| 4, 管理栄養士                         | ・・・P. 8  |
| VI. グループホームぽっかぽっかの家の取り組み課題に対する反省 | ・・・P. 8  |
| ※各委員会（あすなろ・ぽっかぽっかの家）             | ・・・P. 9  |
| V. 地域密着型特別養護老人ホームすずの里取り組みに対する反省  | ・・・P. 13 |
| 各ユニットの年間目標に対する実績と反省（評価）          | ・・・P. 14 |
| 各職種の年間目標に対する実績と反省（評価）            | ・・・P. 16 |
| 1. 介護主任                          |          |
| 2. 生活相談員・介護支援専門員                 | ・・・P. 16 |
| 3. 看護師                           | ・・・P. 17 |
| 4. 管理栄養士                         | ・・・P. 18 |
| ※各委員会（すずの里）                      | ・・・P. 18 |

## I. 決算監査、理事会並びに評議員会

### 1. 決算監査

| 開催年月日     | 出席者数           | 監査内容           |
|-----------|----------------|----------------|
| 令和6年5月13日 | 監事 2名<br>理事 1名 | ・現金監査<br>・決算監査 |

### 2. 理事会

| 開催年月日               | 出席者数         | 決議事項  |
|---------------------|--------------|---|
| 令和6年4月15日<br>第114回  | 理事7名<br>監事2名 | ・特別養護老人ホームあすなろ屋根改修工事設計・監理業務委託契約の締結について  |
| 令和6年5月22日<br>第115回  | 理事7名<br>監事1名 | ・令和5年度事業報告及び決算の承認について<br>・特別養護老人ホームあすなろ屋根改修工事契約方法の決定及び業者の選定について<br>・評議員会の招集について   |
| 令和6年6月20日<br>第116回  | 理事6名<br>監事2名 | ・特別養護老人ホームあすなろ屋根改修工事請負契約の締結について   |
| 令和6年10月10日<br>第117回 | 理事6名<br>監事2名 | ・令和6年度第1次補正予算について<br>・定款の一部改正について<br>・定款施行細則の一部改正について<br>・役員報酬等規程の一部改正について<br>・経理規程の一部改正について<br>・外国人介護人材受入支援事業の保証人について<br>・評議員会の招集について                                    |
| 令和7年3月10日<br>第118回  | 理事6名<br>監事2名 | ・令和6年度第2次補正予算について<br>・令和7年度事業計画及び収支予算について<br>・職員就業規則の一部改正について<br>・パートタイム職員就業規則の一部改正について<br>・評議員選任・解任委員会委員の選任について<br>・評議員候補者の推薦について<br>・評議員選任・解任委員会の開催について<br>・評議員会の招集について |

### 3. 評議員会

| 開催年月日              | 出席者数          | 決議事項                  |
|--------------------|---------------|-----------------------|
| 令和6年6月7日<br>定時評議員会 | 評議員5名<br>監事2名 | ・令和5年度事業報告及び決算の承認について |

|                          |               |   |
|--------------------------|---------------|---|
| 令和6年10月31日<br>(令和6年度第2回) | 評議員7名<br>監事2名 | <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度第1次補正予算について</li> <li>定款の一部改正について</li> <li>役員等報酬規程の一部改正について</li> </ul> |
| 令和7年3月25日<br>(令和6年度第3回)  | 評議員5名<br>監事2名 | <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度第2次補正予算について</li> <li>令和7年度事業計画及び収支予算について</li> </ul>                   |

## II. 会議等への参加状況並びに地域交流

### 1. ①岩手県（県南広域振興局）

| 年月日      | 会場   | 実施内容        |
|----------|------|-------------|
| 令和6年7月9日 | Zoom | 集団指導        |
| 令和6年8月6日 | Zoom | 介護ロボット等支援研修 |
| 令和6年9月4日 | あすなろ | 法人監査        |

### ②岩手県（県社会福祉協議会）

| 年月日       | 会場      | 実施内容         |
|-----------|---------|--------------|
| 令和6年6月12日 | いしどりや荘  | 高齢協県南ブロック役員会 |
| 令和7年2月17日 | いしどりや荘  | 高齢協県南ブロック役員会 |
| 令和7年3月13日 | Zoom    | 経営協総会        |
| 令和7年3月11日 | 花巻市交流会館 | 高齢協県南ブロック総会  |
| 令和7年3月18日 | Zoom    | 高齢協総会        |

### 2. 金ケ崎町

| 年月日                                | 会場          | 実施内容              |
|------------------------------------|-------------|-------------------|
| 5/17、7/19、9/20、<br>11/15、1/17、3/21 | 金ケ崎町保健センター  | 地域包括ケア会議          |
| 8/28、3/26                          | 金ケ崎町保健センター  | 金ケ崎町介護保険事業計画策定委員会 |
| 令和7年2月18日                          | 金ケ崎町社会福祉協議会 | 金ケ崎町法人連絡会         |

### 3. 北上市

| 年月日        | 会場         | 実施内容              |
|------------|------------|-------------------|
| 令和6年4月23日  | こっこふれあいホール | 北上市社会福祉法人連絡会総会研修会 |
| 令和6年11月20日 |            | 買い物支援事業           |

### 4. いわてユニットケア研究会

| 年月日         | 会場   | 実施内容    |
|-------------|------|---------|
| 令和6年5月16日   | すずの里 | 監事監査    |
| 令和6年6月12日   | Zoom | 役員会総会   |
| 6/17、11/11、 | Zoom | 研修委員会   |
| 令和6年6月24日   | 大槌町  | 第31回研修会 |
| 令和6年11月18日  | アイーナ | 第32回研修会 |

## 5. 日本ユニットケア推進センター

| 年 月 日     | 会 場    | 実 施 内 容         |
|-----------|--------|-----------------|
| 令和6年5月24日 | 東京お茶の水 | ユニットケア研修等関係者連絡会 |
| 令和6年5月31日 | Zoom   | ユニットケア研修運営委員会   |
| 令和6年6月4日  | Zoom   | 調査員研修           |
| 令和6年11月1日 | Zoom   | 東北ブロック会議        |
| 令和6年11月1日 | 青森県八戸市 | 東北ブロック研修会       |
| 令和6年11月6日 | 東京お茶の水 | ユニットケア研修等関係者連絡会 |
| 令和7年1月22日 | Zoom   | ユニットケア研修運営委員会   |
| 令和7年2月18日 | 東京お茶の水 | 実地研修施設 施設長会     |

## 6. 各種団体等

| 年 月 日                      | 会 場  | 実 施 内 容                     |
|----------------------------|------|-----------------------------|
| 令和6年10月21日(い<br>きいき岩手支援財団) | アイーナ | 岩手県高齢者権利擁護看護実務者研修(講師<br>派遣) |

## Ⅲ. 特別養護老人ホームあすなろの取り組み課題に対する反省

- (1) 令和6年度 平均稼働率 98.6 %
- (2) 令和7年度3月末現在の入居状況(定員30人)
 

|    |    |    |     |   |     |
|----|----|----|-----|---|-----|
| 男性 | 6名 | 女性 | 24名 | 計 | 30名 |
|----|----|----|-----|---|-----|
- (3) 入居人数 7名 退所人数 6名
- (4) 平均介護度 4.1

目標1 入居者の尊厳のある生活を保障するため、ユニットケア(個別ケア)の理解と実践を通し、サービスの質の向上や環境改善に取り組みます。

### 【実績・反省事項】

5月の家族説明会において、ご家族への行事参加のお願いや、入居者とともに食卓をかこみ、コロナ禍以前のような交流をしていく事をご理解いただき、秋の収穫祭や敬老会、餅つき忘年会などご家族とともに楽しむことができた。面会も、マスク着用ではあるがお部屋で制限なく過ごしていただくことができた。ただ、コロナウイルスやインフルエンザが蔓延している時期は、ホールでの面会をお願いした。外食や外出の機会を増やし、カフェやサークル活動も以前より開催することができ、思い出を作る機会を増やすことができた。ご家族との交流を優先していたので、地域との交流には至らなかった。

令和5年度の介護ロボット支援導入事業により、4月から記録システム(タブレット端末含む)を運用した。記録媒体が物理的に増えたこと、音声入力もできること、より入力しやすい環境を整えたことで、記録の充実が図られている。

ユニットリーダー実地研修を、東北6県から40名程受け入れた。地域のユニットケア実践の模範の場であり、教育施設であることから、今後もサービスの質を担保し継続していく。学生の実習も採用につながることもあり、できるだけ受け入れる方針。

目標2 地域包括ケアの担い手、地域住民の一員として、地域住民と関係機関と連携を図り、地域課題への活動を積極的に行います。地域の方が参加でき、ともに活動できる場を提供します。

### 〔実績・反省事項〕

前項で述べた通り、ご家族との交流を優先していたので、地域との交流まではできていない。ただ、六原幼稚園、第一小学校の子供たちの交流はすることができた。サークル活動についても例年通り職員とともに、楽しんだ。

地域とのつながりは今後に向けての課題である。

目標3 基本理念に基づいた職員像、業務の標準化、職員教育及び研修プログラムの確立により、職員が仕事を通じて成長と達成を実感できる職場環境を目指します。法人職員として意識の統一と自己成長につなげる職員教育を実施します。

### 〔実績・反省事項〕

#### 施設内 OFF-JT

- 4月 理念塾・倫理・法令遵守・接遇  
排せつケア  
BCP 研修
- 5月 食中毒予防研修  
リスクマネジメント・身体拘束廃止研修  
歯科勉強会
- 6月 24 シート・記録  
個別ケア（ユニットケア）
- 7月 緊急時の対応
- 9月 認知症研修  
排尿の仕組み  
虐待防止研修
- 10月 感染症対策研修（BCP 研修含む）  
歯科研修  
排便の仕組み
- 11月 リスクマネジメント・身体拘束廃止研修  
24 シート・記録
- 12月 看取り・健康管理
  - 1月 窒息対処法
  - 2月 虐待防止（アンガーマネジメント）研修
  - 3月 感染症（吐物処理）研修

#### 施設外 OFF-JT

- 6月 いわてユニットケア研究会 研修会（大槌）
- 8月 カスタマーハラスメント研修(zoom)
- 11月 ユニットケア東北ブロック フォローアップ研修（八戸）  
いわてユニットケア研究会 研修会（盛岡）  
ユニットリーダー研修（盛岡）  
ユニットケア看護師研修(zoom)
- 1月 「DXからはじめる ESG 経営」セミナー（北上）  
実践改善・業務効率化セミナー(zoom)
- 2月 人事考課セミナー（zoom）
- 3月 防火管理者養成講座（盛岡）  
経営協経営セミナー（盛岡）

施設内 OFF-JT は、例年通り実施できた。施設外研修に関しても、集合、zoom 問わず参加できた。24シートや OJT チェックリストによる職員教育や、職員手帳を使った研修を実施できた。ユニットミーティングを利用した勉強会を導入し研修の機会を多くすることができた。

目標4 コンプライアンスの徹底、リスクマネジメント体制を運用することで入居者や職員が安心・安全の中で暮らし、働ける環境を目指します。

#### 【実績・反省事項】

ヒヤリハット、発見シート等を分析し、入居者一人ひとりのリスクマネジメントを強化し、大きな事故もなく過ごすことができた。職員に関しても怪我なく、就業することができた。8月に入居者8人職員9人がコロナウイルス感染した。対応についての反省点を踏まえ、今後の感染症対策の見直しをした。今後は感染対策を徹底し、感染したとしても蔓延しないよう対応したい。

## ※ 各ユニットの年間目標に対する実績と反省（評価）

### 南ユニット

【年間目標】 暮らしに安心と楽しみを提供し、自分らしく暮らせるように援助していく。

#### 【実績・反省事項】

- ・そのひとらしい暮らしを作る

入居者の生活リズムに合わせて支援が出来た。隣に座ってゆっくり会話が出来なかったのと反省はあったが、普段のケアの中で会話を楽しみながらコミュニケーションをとることができた。今後は、職員も一緒にゆっくりとお茶を飲みながら会話を楽しめる時間を持ちたい。

楽しんでもらえるようにイベントを考え取り組んできたが、コロナなどの感染症の流行などがあり外出が少なかったので、来年度は外出を増やしていきたい。

- ・生産性向上に向けた取り組み

課題に対し、ミーティングで話し合い入居者の暮らしに合わせるよう改善できた。日報を活用し情報共有に努めた。状況に応じて共有の方法を見直していきたい。

### 西ユニット

【年間目標】 ここで暮らして良かったと感じてもらえるよう、入居者一人ひとりに寄り添い、その人らしい暮らしを支えていく。

#### 【実績・反省事項】

- ・そのひとらしい暮らしを作る

入居者の食べたい物など聞いて、それに応えられるようユニットで準備したり、作ったりするなど毎月行うことが出来た。また、ソフト食に変更したりミキサー食を作ったりと、その人に合った食事形態や食事を楽しんでもらえるような工夫が出来た。

外出支援などは計画まではしていたが、地域の感染状況などで行けなくなったことがあった。帰宅願望の強い入居者のためにも、来年度はそこに力を入れて支援していきたい。

ご家族とは、面会や行事に来ていただいた際や LINE でこまめに様子を報告したことでコミュニケーションが図れた。今後は一緒に外出したり、誕生日を一緒に祝うなど、参加

できるか声をかけて、関りを深めていきたい。

- ・生産性向上に向けた取り組み

24シート一覧表をもとに業務の見直しや過ごし方を考えることができたことで、その人らしい暮らしに反映することができた。24シートの更新については遅れることもあり、速やかに更新ができるよう今後も続けていく

## 東ユニット

【年間目標】 入居者がその人らしい暮らしを継続できるようユニットケアを実施し支援していく。

### 【実績・反省事項】

- ・その人らしい暮らしを作る

面会制限がなくなったことで、家族の思いを聞く機会が増え、自宅に外出したり、食べさせたい物を持参して頂き、提供出来た。また、入居者が行きたい所に行ったり、好きなものを外食したり、コロナ禍で中々出来なかったことを他職種の協力も得ながら実現することもできた。

日々の暮らしがわかる記録は、ご家族が見てもわかるよう心掛け、内容を確認しながら取り組んでいる

- ・生産性向上に向けた取り組み

仕事が効率よくできるよう、入居者の状態の変化や新規入居後等にミーティングや出勤時に検討し改善することができた。

タブレット端末も増えたことで、記録時間の効率化が図れた。記録内容が薄くならないよう充実させたい。また、カンファレンス後の24シートの更新も効率的に行えるよう取り組みたい。

工作中的の課題に対し否定的な意見もあったが、言って終わりではなく、そのことについてどう改善していくかまで検討した。

申し送りのやり方の反省点を踏まえ、目標を再度確認した後は、口頭とメモ、日報で申し送りをし、各自確認をし、情報を共有できるようになっている。

## ※ 各職種の年間目標に対する実績と反省（評価）

### 1、介護主任・副主任

「重点目標」

- ・「ここで暮らして良かった」と感じてもらえるよう、個別ケアの指導と実践を行いながら質を高める。
- ・職員が発信しやすい環境づくりをし、思いを形にする。

### 【実績・反省事項】

「ここで暮らしてよかった」と入居者が望むその人らしい暮らしができるよう、一人ひとりの情報収集を行い記録に残しながら評価し、24シートに反映させている。個別的ケアの考え方を委員会やミーティング、施設内研修で周知しながら、支援に反映させることが以前より出来てきた。また、ご家族に行事への参加を促し、入居者と一緒に楽しむ機会を持つことが出来、入居者の笑顔が増えた。来年度も引き続き行っていきたい。

少しずつではあるが、以前に比べ委員会やミーティング時に、職員の発言が増えてき

ている。今後も意見を出しやすいようにし、職員一人一人がチャレンジできる環境を作  
っていきたい。

## 2. 生活相談員・介護支援専門員

### 生活相談員

「 重点目標 」

- ・入居者と家族の関わり、家族と施設の関わりを深める取り組みをする。
- ・地域住民との関わりや慰問団体、ボランティア関係者との親交を深めて、入居者の生活の充実を図る。

### 〔実績・反省事項〕

入居者と家族、家族と施設の関わりについて、5月に家族説明会を開催し、あすなろの取り組みの方針と家族への協力をお願いをした。具体的には、家族になるべく面会に来てもらえるよう促すためのLINEの活用（おたよりの代わりに行事やイベントの様子を写真付きなどでも活用）、面会時の日頃の掃除や行事の機会での大掃除の協力のお願い、行事中での会食の機会を設けるなど、入居者と家族、家族と施設の関わりを深めていくという取り組みをした。結果として、面会制限もなくなったこともあり、面会に来てくれる家族は増えた。また、家族に行事へ参加してもらい、入居者との時間を、食事を交えながら共に過ごしてもらったことで入居者の表情がとても良かったのが印象深かった。

地域との関わりについて、行事で慰問団体（翔南高校鬼剣舞部、幸の会、）に来てもらい入居者に楽しんでもらえた。近隣住民とのつながりをつくることと、サークル活動のボランティアの方を探すことは、来年度に向けての課題である。

### 介護支援専門員

「 重点目標 」

- ・ケアプランに本人、家族の希望や要望を取り入れるための取り組みをする。

### 〔実績・反省事項〕

ケアプランに家族の希望や要望を取り入れるため、家族にはできるだけカンファレンスへの出席をしてもらいたいと家族説明会でお願いをした。結果として、カンファレンスに出席してもらえた家族からは希望や要望を十分に聞くことができ、中身の濃いケアプランにすることができた。反省点として、カンファレンスの開催がシフトの都合により、平日になっていたので仕事をしている家族は出席が難しかった。土日にも開催できれば家族の出席率は上がると思うが、シフトの都合もあるので今後要検討。

## 3. 看護師 （あすなろ 及び ぽっかぽっかの家）

「 重点目標 」

- ・入居者個々が安定した状態で過ごせるように体調を管理する。
- ・入居者やご家族の意思を尊重し、その人らしい生活が送れるように支援する。
- ・施設における感染防止に努める。

### 〔実績・反省事項〕

入居者の体調管理においては医師との連携、他職種との連携、日々の観察の中で管理することが出来た。

ご家族の想いを確認しながら終末期ケアを行った。

感染症においては、コロナウイルスのクラスター感染になってしまった。幸いにも、重症化する入居者、職員もなく3週間程度で日常に戻った。対応に対しては、5類にもなっていることから、あまりプレッシャーにならないようにしたいが、感染対策と感染予防は基本を怠らないようにする。

#### 4. 管理栄養士 (あすなろ・すずの里)

「重点目標」

- ・食を通した楽しみを入居者・職員・ご家族と共有し共に潤いある生活を送る支援を行う。
- ・最期まで口から食べる事を支援するため職員と家族が連携を図りながら双方で協力し実践する。

〔実績・反省事項〕

お楽しみランチは毎月開催し入居者の要望を取り入れた食事を提供した。

行事食はお花見弁当、流しそうめん、敬老会、収穫祭、餅つき忘年会を実施した。収穫祭には希望のご家族にも参加して頂き、入居者様の野菜切りの補助をして頂いた。餅つき忘年会もご家族も一緒に会食予定だったが感染対策の為、ついた餅はパック詰めし持ち帰って頂いた。令和7年度はお楽しみランチやクッキングサークルなどでご家族も一緒に会食できる機会を増やせるように取り組みたい。

最後まで口から食べる取り組みでの家族連携については、ご家族の気持ちを伺いながら取り組むことを意識した。あるご家族で口から食べることが困難になってきている入居者様に、「うに」が好きだったので食べさせてあげたいと瓶詰めのウニを持ってこられた。ユニット職員がペーストにし、ご家族にお手伝いして頂き食べることもあった。このような取り組みは一例で、普段からご家族とも関わって頂き、お互いに関わりながら入居者を支えるように取り組みたい。

### Ⅳ.グループホームぽっかぽっかの家の取り組み課題に対する反省

(1) 令和6年度 平均稼働率 99.4 %

(2) 令和7年3月末現在の入居状況 (定員9人)

|    |    |    |    |   |    |
|----|----|----|----|---|----|
| 男性 | 3名 | 女性 | 5名 | 計 | 8名 |
|----|----|----|----|---|----|

(3) 入居人数 2名 退所人数 3名

(4) 平均介護度 2.6

目標1 個別ケアの理解を深め、自立支援を念頭に、「その人らしい生活」ができ、居心地の良い暮らしの実現に向けサービスを実践に取り組む。

〔実績・反省事項〕

認知症実践者研修やユニットリーダー研修、管理者研修を職員に受けてもらい知識の習得に努めてもらった。新たに学んだことで、個別ケアの視点を持って業務の実践に活かされている。

目標2 地域住民、地域関係機関と連携し高齢者や障害者、認知症の方の理解を深め生活支援が必要な人々の暮らしを考え、支える場として活動し地域へ発信できるグループホームを目指す。

### 〔実績・反省事項〕

2か月に1度行われる運営推進会議等で、事業所の取り組みに対して理解を深めて頂けるよう発信している。数は多くありませんが、外出等で地域にある観光施設等へ赴き、共生社会の実現を目指し取り組んだ。

目標3 基本理念に基づいた職員像、業務の標準化、職員教育及び研修プログラムの確立により、職員が仕事を通じて成長と達成を実感できる職場環境を目指します。法人職員として意識の統一と自己成長につなげる職員教育を実施します。

### 〔実績・反省事項〕

年初にある理念塾もですが、ユニットリーダー研修に職員が参加した事で、事業所の理念を意識できるよう職員会議の次第に理念の言葉を載せる事とした。定期的に事業所の理念の言葉を目にすることで、職員の意識の確立に役立っている。

研修内容はあすなろと同じ

目標4 コンプライアンスの徹底、リスクマネジメント体制を運用することで入居者や職員が安心・安全の中で暮らし、働ける環境を目指します。

### 〔実績・反省事項〕

監査や外部評価があり、より規律や法令を振り返る1年となった。今後も入居者並びに職員が穏やかに過ごせる環境作りに努めていく。

## ※ 各種委員会 (あすなろ 及び ぽっかぽっかの家)

### 1. 事故防止・身体拘束廃止・虐待防止検討・見守り機器等活用委員会

活動目標(目的)

- ・ヒヤリハットをたくさん出す事で、気付きや施設全職員での共通認識・意識統一を図り、サービス向上を目指し事故防止に努める。
- ・身体拘束ゼロの実現に向け施設全体で取り組む。
- ・人権保護の観点から虐待防止に努める。

#### 〔実績・反省事項〕

ヒヤリハット、発見シートを提出し、委員会やミーティングで分析し、情報共有することでリスクを最小限に減らし事故を防ぐことができた。今後も、どんな些細な気付きも情報共有し対策を考えながら、入居者に安全で安心して暮らしてもらえるよう環境を整えていく。(あすなろ)

身体拘束にあたる症例はなかった。入院を伴う事故が1件あり、日頃の環境整備に対すし再度見直しをした。入居者の安心・安全を守る観点から今後も気を付けて取り組んでいく。権利擁護の観点からも意識して取り組んで行けるよう研修等を実施していく。(ぽっかぽっかの家)

### 2. 感染対策委員会

活動目標(目的)

- ・あすなろ・グループホーム内での感染症の発生を出来る限り防ぎ、入居者に安心して生活を送っていただく。

#### 〔実績・反省事項〕

あすなろにおいては、職員、入居者のコロナウイルス感染の発症が8月にありました

が、重症者なく収束する事ができた。クラスターの発生時の対応についての反省や今後の対応への勉強となるが多かった。改めて施設へ「ウイルスを持ち込まない」の重要性を学び、検討した。

1月にコロナウイルス感染を起こしてしまい入居者、職員3名それぞれ3名ずつ罹患した。収束までに13日を要した。幸いにも重度化された方は居りませんでした。今後も気を付けて行きたい。(ぽっかぽっかの家)

### 3. 生産性向上業務改善委員会

活動目標（目的）

- ・業務のやり方を工夫することで、現状の業務から「ムリ」「ムダ」「ムラ」をなくし、現状の業務をより安全に、正確に、効率的に行うことや職員の負担や経費の負担を軽減する。

〔実績・反省事項〕

タブレット端末の導入により、物理的に記録媒体も増え効率的に記録ができるようになった。

24シート一覧表を活用し、隙間時間での業務の整理を行った。

業務改善に伴い16時間夜勤から9時間の夜勤に変更し業務の見直しを図った。長時間拘束からの心身の疲労の軽減に繋がり、子育て世代の職員には送り迎えがしやすくなったとの意見が聞かれた。(ぽっかぽっかの家)

### 4. 災害対策委員会

活動目標（目的）

- ・各施設における防災計画及び訓練の実施
- ・各施設におけるBCPの計画見直し及び訓練の実施

〔実績・反省事項〕

避難訓練を2回（4月、9月）実施した。

BCPに関する研修会（4月）及び書面での机上訓練（9月）を実施した

監査・外部評価の実施に伴い法改正に合わせた運営規定に見直し等をした。(ぽっか)  
職員への周知を徹底するため、研修や訓練の実施を通し意識付けを行っていきたい。

### 5. 広報・行事委員会

活動目標（目的）

- ・広報を通じてやまどり福祉会の活動や入居者の暮らしぶりを家族、地域の皆様知って頂き、気軽に足を運んでもらえるようにする。
- ・入居者に思い出を振り返って頂けるような広報を作る。
- ・季節ごとの行事を行う事はもちろんの事、入居者の生きがいつくりを行う。

〔実績・反省事項〕

今年度、LINEを活用しタイムリーにその時の様子を伝えることが出来、家族の方に喜んでもらえて良かった。コロナも終わり、家族も施設行事に参加していただく機会も増えて来たので、その様子を広報で地域の方にも伝えていきたい。(あすなろ)

毎月個人用のぽっか便りを作成しご家族に請求書と共に送付している。ご家族からの反応も好評を得ている。新年度より特養のあすなろと同じ広報の発行に切り替えていくので、入居者及びご家族への理解の周知に努めながら取り組んでいく。(ぽっかぽっかの家)

## 6. 食事支援チーム

活動目標（目的）

・食べたい物をタイムリーに提供できるよう、また、食べる・作る楽しみ、喜びを共に共感する。

### 【実績・反省事項】

できるだけ食べたいものが美味しく提供できるように、嚥下機能に配慮し食事形態を工夫して提供し、他職種と検証しながら入居者の方に喜んでもらえる食事を提供することができた。今後も取り組み食べたいものを安全に食べてもらえるよう、口腔に関する研修などを取り入れ知識を増やしていく。

季節の行事や旬なものを使った料理を提供し喜ばれた。（あすなろ）

季節や行事、活動等に合わせて一緒に食事を作る等の取り組みを行った。

施設の前にある畑で取れたものを調理に組み込む等し、食べる楽しみや喜び作りに役立った。今後も継続していく。（ぽっかぽっかの家）

## 7. 排泄・褥瘡予防ケアチーム

活動目標（目的）

・尿測データの取り方を一から学び直し、個々に合った排泄支援を行い、不快な思いをさせないよう支援する。

・早めのケアを行うことで皮膚トラブルを防ぎ、褥瘡予防に努める。

### 【実績・反省事項】

今年度、よりその人に合った排泄支援を行うために、排泄の考え方・尿測の考え方を、確認し再度勉強会を行いながら取り組んだ。以前に比べ、排泄に関する考え方や意識が少しずつ変わり、リハビリパンツから綿パンツへ移行できた方も増えている。今後も引き続き取り組み、その方に合った快適な排泄支援を行っていく。（あすなろ）

排泄表を参考に尿量の測定や使用する物品の選定を行い、入居者の快適な生活の実現を目指し取り組んだ。（ぽっかぽっかの家）

## 8. 24シート・記録チーム

活動目標（目的）

・24シートを活用し、入居者に合わせた職員配置になる様務める。

・暮らしづくりが分かる記録とケアプラン等と連動している記録になるよう努める。

### 【実績・反省事項】

以前より記録の内容も、暮らしづくりが分かる記録になっているので、しっかり記録の評価を行い、根拠に基づいた支援が提供できるようケアプランに反映させその人らしい暮らしを提供していきたい。（あすなろ）

ケアプランの内容の見直しを図り、24シートに反映できるよう作り変えたところ。これから少しずつ修正し、入居者の生活に沿ったものにしていく。（ぽっかぽっかの家）

## 9. 安全対策委員会

活動目標（目的）

・吸引等の特定行為を適切、安全に行う為の実施・教育。

### 【実績・反省事項】

個別的な吸引の指導は研修受講者には出来たが、全体的な研修会をなかなか開催できず個別の勉強会もとどまるに至り、課題が残った。次年度は計画的に実施していくようにする。

## 10. 苦情解決委員会

活動目標（目的）

・円滑かつ迅速に苦情に対応することで、個人の権利擁護を図るとともに、サービスの適切な支援をする。

### 〔実績・反省事項〕

入居者及び、家族からの苦情はなかった。今後も信頼関係を維持し対応していきたい。（あすなろ）

外部評価の中に家族アンケートがあり、その中で事業所に対する意見・評価があったので、それを参考に今後のサービスの在り方を検討していく。（ぽっかぽっかの家）

金ヶ崎町介護相談員の月1回の訪問を受け入れている。（あすなろ、ぽっか）

## 11. 入居判定委員会

活動目標（目的）

・入居判定課程の透明性、公平性を確保するとともに、入居の必要性の高い申込者が円滑に入居できること。

### 〔実績・反省事項〕

判定会議の際、待機者の中から優先順位の高い申込者から順番に選定し、委員会では必要性の高い申込者を入居決定とした。決定後はご家族と連携し、迅速かつ円滑に入居の運びとなった。

昨年度は2名の新規入居者に対し行った。調査の際にできるだけ細かな情報を聞き取り、判定の際に意見を求めやすい情報提供に取り組んでいる。（ぽっかぽっかの家）

## 12. 研修委員会

活動目標（目的）

・法人にとっての人財となるべく「自らの力量を高める」こと。

### 〔実績・反省事項〕

年間施設内研修（法廷研修含む）を日程通り実施する事ができ、職員の知識や意識を高めることができた。来年度は、外部講師にも研修を依頼し、職員が学びたい研修に参加できるよう、研修内容を充実させ職員一人一人のスキルアップに繋げるよう取り組んでいく。（あすなろ）

昨年度もできるだけ多くの職員に、外部の研修に参加できるよう配慮し勤務の調整を図った。BCPの観点からも、今年も事業に必要な資格の習得に職員を送れるよう取り組んで行く。（ぽっかぽっかの家）

## 13. 情報管理委員会

活動目標（目的）

・DX推進に伴い、個人情報適切な管理及び情報公開規定等の運営、見直し

### 〔実績・反省事項〕

年度別に新たな公表項目が情報公表にも追加されており、その項目の観点から職員に対する周知及び意識付けを今後も図っていく。

## V. 地域密着型特別養護老人ホームすずの里

### 取り組み課題に対する反省

- (1) 令和6年度 平均稼働率  
特養 99.05% ショートステイ 92.0%
- (2) 令和6年度3月末現在の入居状況  
特養 (定員29名) 男性 8名 女性 21名 計 29名  
ショート (定員10名) 男性 0名 女性 5名 計 5名
- (3) 入居人数 11名 退居人数 11名
- (4) 平均介護度 令和6年度3月末現在の入居状況  
特養 4.0 ショート 2.4

目標1 入居者の尊厳のある生活を保障するため、ユニットケア(個別ケア)の理解と実践を通し、サービスの質の向上や環境改善に取り組みます。

#### 〔実績・反省事項〕

コロナウイルス感染状況を確認しながら、家族面会や外出の機会を大切にし、施設行事でもある秋祭り、敬老会、家族懇親会(大掃除・会食)など、ご家族に参加協力をお願いし、一緒に楽しく過ごせる機会を設けることで入居者・ご家族の思いを形にすることができた。

ユニットケアの根拠と理解をするため、環境整備、研修会の開催、職員手帳、ケアマニュアルを整備し、サポート支援を統一することで、一人一人の暮らしを支えることができた。また、職員の業務効率化を図るため、記録システム変更とタブレット(iPad)を導入したことにより、リアルタイムな記録と記録時間短縮に繋がっている。すべての取り組み成果により、11月ユニットリーダー研修実地研修施設の新規調査を受け、合格した。

目標2 地域包括ケアの担い手、地域住民の一員として、地域住民と関係機関と連携を図り、地域課題への活動を積極的に行います。地域の方が参加でき、ともに活動できる場を提供します。

#### 〔実績・反省事項〕

地域活動はなかなか充実していないが、花の苗は地域の方より購入し、地域の方とご家族と一緒に花壇づくり活動を実施。また、地域向け広報誌を年2~3回発行し、施設の暮らしや活動など知ってもらうことができた。

また、運営推進委員の方々の地域情報も参考にし、積極的に地域交流活動に参加していき、地域に根差した施設づくりを行っていきたい。

目標3 基本理念に基づいた職員像、業務の標準化、職員教育及び研修プログラムの確立により、職員が仕事を通じて成長と達成を実感できる職場環境を目指します。法人職員として意識の統一と自己成長につなげる職員教育を実施します。

#### 〔実績・反省事項〕

・施設内 OFF-JT

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 4月(24シート・記録)     | 5月(理念塾・法令遵守・ユニットケア) |
| 6月(感染症対策・感染時の対応) | 7月(身体拘束・虐待・リスク)     |
| 8月(認知症)          | 9月(看取り介護)           |

- 10月（理念塾・ユニットケア） 11月（排泄ケア）  
 12月（感染症対策・業務継続計画） 1月（プライバシー保護・接遇）  
 2月（身体拘束・虐待・リスク） 8月+3月（防災教育・避難訓練）
- ・施設外 OFF-JT
  - 6月
    - ・いわてユニットケア研究会（大槌）
    - ・プライバシー保護と法令遵守研修（zoom）
  - 8月
    - ・介護福祉士基本研修会（盛岡）
  - 9月
    - ・呼吸リハビリテーション研修（盛岡）
    - ・VR 認知症体験会研修（盛岡）
    - ・ユニットリーダー研修実地研修（花巻 1名・秋田県 1名）
  - 10月
    - ・成年後見制度（zoom）
  - 11月
    - ・いわてユニット研究会（盛岡）
    - ・ユニットケア看護師研修会（zoom）
  - 2月
    - ・人財育成・サービス向上研修会（北上市）

施設内研修は、全職員参加できないこともあったが、法定研修を含め毎月予定どおり実施し外部研修にも参加させ、各分野において知識と理解を深めることができた。今年度は、リーダー研修実地研修施設の試験調査に向けて、職員手帳及びケアマニュアルを再整備し、それを基に施設ルールなど日頃から職員教育と指導することができた。

目標4 コンプライアンスの徹底、リスクマネジメント体制を運用することで入居者や職員が安心・安全の中で暮らし、働ける環境を目指します。

**〔実績・反省事項〕**

今年度は、夜間帯に転倒による骨折事故が1件。歩行状態が安定せず、日頃から見守り強化をしていたが、職員配置が少ない時間帯に発生し、迅速に家族への詳しい説明と対応により苦情などにはなっていない。今後も、事故報告書、軽傷報告書、ヒヤリハットなど分析検討し、入居者のリスクマネジメントを行いつつ、重大事故を防止する。

感染症について、10月ショートステイにおいてコロナウイルス感染があったが、他ユニットに感染拡大せずに数名で終息。ショートステイ利用者は毎回コロナ抗原検査を実施している中で、陽性反応者を数名確認する場合もあり、施設内への感染を未然に防ぐこともできていた。引き続き感染対策を行い、入居者の安全を守っていく。

**※ 各ユニットの年間目標に対する実績と反省（評価）**

**せおとユニット**

【年間目標】 多職種・家族との関わりを深め、より「その人らしい暮らし」の実現を目指す。

**〔実績・反省事項〕**

- ・「その人らしい暮らし」を作る。

今まで自分たちが実施してきた対応の確認、見直しから始まり、入居者へ再度意向の聞き取りなどに努め、入居者の意向が生活に反映されるように努めていた。また実地研修施設に向けての取り組みの中では、ユニットケアの基本についてユニット職員全体で学ぶ機会を得て、大きな収穫となっている。職員が一丸となって試験に臨むこと自体が、「その人

らしい暮らしを作る」といった目標に沿って行動する原動力になっていた。

ご家族との関係性も以前に比べ深まっているように感じられるが、ご家族を巻き込んだ活動については今後の課題としたい。

- 生産性向上の取り組み。

業務の実施確認に注視し、業務の漏れや重複がないように努めた。また実地研修施設を目指す取り組みの中で日々の対応方法の見直しやマニュアル整備による業務の適正化に努める事が出来た。記録システムの変更や24シートの整備など、増加した業務量については、ユニット職員共々、日々の対応に明け暮れた時期もありましたが、既存の仕事内容を整備し、また職員同士の協力体制を深める事で職員の定時労働が円滑に行われるよう努めた。

### **あずみユニット**

【年間目標】 入居者の思いやこだわりを大切にし、笑顔で暮らすことのできるユニットをつくる。

#### **【実績・反省事項】**

- 「その人らしい暮らし」を作る

懇親会を開くなどご家族との交流を増やしたことで、普段より笑う機会が増え、年間目標に掲げていた「笑顔で暮らす」ことに繋がった。ご家族からも「3年ぶりに一緒にご飯を食べた」「こういう機会はなかなかないので楽しいです」と喜んで頂くことができた。関係作りはうまくできたように感じるが、「その人らしさ」という点では取り組みは足りなかったように感じているが、試験に向けて意向の確認を行なう中で、年明けから神社へ参拝したり、入居者からの意向でお寿司ランチを取り入れたり、入居者から「吹奏楽のコンサートに行ってみよう」との声を聞き行動に移すことが増えた。

- 「生産性向上」に向けた取り組み

記録の工夫に関しての取り組みは、休憩後に記録する時間を作る、iPadを使用してこまめに入力する、ケアプランに沿った記録をすとし、職員同士声をかけ合って行った。ケアプランを意識した記録が増やせるよう、次年度も記録の工夫に関しては考えていきたい。

理念・行動指針の徹底に関しては、ミーティング開始前に皆で唱和を行うことを取り入れ、3つある理念に対してどのような取り組みをしたか各自振り返りを行なうことで、意識することをこころがけた。

### **しみずユニット**

【年間目標】 入居者、家族、職員がここで良かったと感じる笑顔溢れるユニットをつくる。

#### **【実績・反省事項】**

- 「その人らしい暮らし」を作る

24シートの内容充実から取り組み、入居者個々の意向の確認、支援内容の見直しを行う上で、入居者本人とのコミュニケーションが増え、思いを感じ取る為の行動をとることができた。情報収集に力を入れて、その人らしさを引き出し、入居者個々に寄り添ったケアに繋がる24シートが完成し、全スタッフで確認する機会を設ける事で、職員同士の意見交換や、考え方を知ることができ、視野が広がり、内容がより充実したものに出来た。職員間で情報共有することで、根拠を共有して統一したケアが行える体制が出来、入居者視点の環境づくりや日々の生活の変化等にいち早く気付くことのできる支援につながった。ケース記録でも、ケアプラン内容に沿った記録を意識して行う事で、暮らしの変化等が分かる経時的な記録が出来た。しかし、記録する時間が業務時間内に取る事が出来ない

状況になる事があり、内容の薄い文章になってしまうという反省もあった。入居者個々の出来る事、やりたい事を探っていく中で、好みやこだわりを形にするための外出や行事を行ったが、もっと積極的に取り組んでいく事が課題となった。また、家族参加の行事を実施するに至らず、家族との関わりも課題となり、忘年会でしか他入居者の家族と顔を合わせる事が出来なかった為、家族同士で話ができる機会なども来年度取り組んでいきたい。日常の暮らしの中では、入居者、職員の笑い声が多く聞こえるユニットだったと振り返る事が出来、入居者の思いに寄り添い暮らしが継続できていたと思われる。

・「生産性向上」に向けた取り組み

業務、支援内容を明確にし、スタッフ間の偏りなく業務、支援が行えるように繰り返し内容の確認を行い、スタッフ間で声を掛け合って分担しながら業務を行う事ができるようになった。スタッフ間の声掛けが増えた事により、支援の相談や意見等も話し合いやすくなり、支援の見直し等に繋がっていた。職員手帳、ケアマニュアルが一新されたことで、確認しやすくなり指導や振り返りに積極的に活用出来た。ユニット内の環境整備にも努め、居室を退室する前に整理整頓を確認する事を意識するようになり、いつでも清潔な環境で過ごしていただく事が出来た。スタッフ各々が自分に今出来る事、やるべき事を考えて行動する事で、スムーズに入居者の対応が出来、滞った業務も少なかった。記録に掛かる時間の確保が難しいという課題はいつもあがっていて、合間を見てスタッフ間で声を掛け合い、休憩後に記録時間を確保する事で、できるだけ勤務時間内で業務を終えるように努めたが、その分内容の薄さや経時的な記録漏れが見られた事が反省として残った。しかし、実施研修施設を目指す上で、記録物を重視して見直しが出来た事で、スタッフ間で必要な情報量や記録内容を改めて確認する事が出来た。また、施設理念の理解が深まり、同じ意識で支援出来るようになった。

### せりだユニット

【年間目標】 「わたらしい」自分の暮らしの実現と安心した生活を送る。

#### 【実績・反省事項】

・「その人らしい暮らし」を作る。

自宅の生活と同じように他職種交えて情報を収集しながらスタッフ間で伝達が出来た。

入居者の要望に応えながらイベントごとも多く実施する事ができ、その人らしさが見えたことも良かった。その中で日々の記録の充実を図るべく、その都度聞きながら記録の仕方について説明し、様子がわかる記録を意識することができた。

・「生産性向上」に向けた

急な欠勤等で人員不足になる事もあり、業務の見直しを行ないスムーズに業務に支障ないようにできた。スタッフ各々が得意としている事を発揮して、責任をもってもらう事が出来た。

## ※ 各職種の年間目標に対する実績と反省（評価）

### 1. 介護主任

「重点目標」

- ・施設職員一丸となって実地研修施設合格。
- ・自信を持ち愉しさを実感できる。

#### 【実績・反省事項】

1 1月の実地研修施設の調査に向け、職員手帳及びケアマニュアル整備を行い、調査項

目をすべてチェックしながら施設一丸となって6ヶ月間取り組んだ。特にリーダー指導に重点をおき、そこから全職員へ共有した思いや考えを浸透させることができ、目標であったユニットリーダー実地研修施設に合格することができた。

入居者、家族から「ありがとう」「ここで良かった」などと、感謝される言葉を頂き自分達のプラス評価として、やる気と自信を持てることができた。ユニットのサポートに入り、言葉だけの指導ではなく、ユニット職員と一緒に行動することで「ユニットケア（個別ケア）」の愉しさを共感することができた。

## 2. 生活相談員

「重点目標」

- ・その人らしい暮らしをサポートしていくことをスタッフと一緒に確認しながら実践し、入居者と本人の満足感が得られるようにする
- ・地域の方に「すずの里」での暮らしをアピールし、つながりを深める

【実績・反省事項】

困難ケースに発展する事例もなく、家族からの相談・要望の対応はユニットでリーダーを中心にできていた。

地域との連携をすすめられるように、クラブ活動の先生として一緒に活動してもらえ人材を増やすことができた。（手芸クラブ、習字クラブ、いきいき体操等）。今後も、人材の発掘に努めたい。

地域広報誌は、広報委員会を中心に作成し、北鬼柳6区と16区に配布した。施設でのハンドベルコンサートなどの案内を掲載したところ、地域の方の参加もあり、「すずの里」を知ってもらえる良い機会になった。

SNSを活用し、施設での暮らしを多くの人に知らせることができた。

## 3. 介護支援専門員

「重点目標」

- ・ケアプランに本人、家族の希望や要望を取り入れるための取り組みをする。

【実績・反省事項】

プラン作成時に具体的な希望を聞き出し「どうなりたい」「どうしたい」という本人、家族の望む生活を共有できるようにした。

本人や家族がプラン作成に参加できるよう担当者会議の日程を調整した。遠慮もあり口に出せない、お願いができないということにならないよう会議は話しやすい雰囲気づくりに努めた。

まだまだ建前的な要望しか聞けないこともある。本人、家族との信頼関係を深めるようしていきたい。

## 4. 看護師

「重点目標」

- ・入居者個々が安定した状態で過ごせるように体調を管理する。
- ・入居者やご家族の意思を尊重し、その人らしい生活が送れるよう支援する。
- ・施設における感染防止に努める。

【実績・反省事項】

拘縮予防や下剤に頼らない排便コントロールを目指して取り組みを行なった。拘縮予防に関しては、3名の入居者を対象に取り組み、毎日継続することは難しかったが、日々の業務として意識して行なうことができるようになった。また、排便コントロールに関しては、個々の入居者に合わせて、体操や食品を取り入れてみた。下剤に頼らないまでには至っていないが、坐薬や浣腸の使用頻度は減少した。

体調変化時や看取りの時期は、家族への連絡・説明をこまめに行ない、家族の意向に沿った対応を行なうことができた。中には急激に状態が変化することもある為、日々の細やかな観察に注力する。

ショートステイ入居者2名に新型コロナウイルス感染があったが、ユニット職員の迅速な対応によりクラスター発生には至らなかった。昨年度の経験や研修会の実施が役に立てられた。

## 5. 管理栄養士

「 重点目標 」

- ・食を通した楽しみを入居者・職員・ご家族と共有し共に潤いのある生活を送る支援を行う。
- ・最期まで口から食べる事を支援するため職員と家族が連携を図りながら双方で協力し実践する。

### 【実績・反省事項】

他職種で協力し、お楽しみランチ・カフェ・居酒屋は毎月開催できた。家族参加の全体行事としては家族会を開催し各ユニットでメニューを考え食事の準備と会食交流をした。(2回/年)

最期まで口から食べる支援での家族との連携については、入居者の好む食べ物を差し入れて頂きご家族にも付き添って食べてくことや、各ユニットで好きなものや食べ進みの良いものを常備し対応した。

## ※ 各委員会

### 1・安全対策検討委員会（事故防止 リスク） 身体拘束廃止委員会

活動目標（目的）

- ・ヒヤリハットをたくさん出す事で、気付きや施設職員での共通認識・意識統一を図り、サービス向上を目指し事故防止に努める
- ・身体拘束ゼロの実現に向け施設全体で取り組む

### 【実績・反省事項】

委員会を開催し事故について対策検討することができた。また、普段からユニット間でも事故報告・ヒヤリハットなど回覧し情報共有ができ、事故防止にも繋がっていた。軽傷（あざ）報告もこまめに出ている、事故防止の意識を高めることができた。

身体拘束については、現状ゼロだが「スピーチロック」に該当しないよう普段の言葉遣いには注意して、安心できるように入居者支援を行っていく。

### 2・食事支援委員会

活動目標（目的）

美味しく食べて頂く為の機能維持・向上を目指し、口腔・嚥下に関する知識の習得や口腔・嚥下機能の維持・向上の為の取り組みを行なう。

### 〔実績・反省事項〕

各ユニットで、普段の食事に季節の野菜で天ぷらや炊き込みご飯、栗ご飯、漬物などを作ったり、湯煎の調理で余る食材を活用してひじき入りの豆腐ハンバーグやカレーなど工夫して提供することができた。また、嚥下機能に合わせて飲み込みにくい食材はミキサーにかけペーストにして提供した。美味しく食べて頂く為の支援は定着してきているので、来年度は口腔・嚥下や食事姿勢やポジショニングに関する勉強会を行ない、知識の習得と実践に生かせるように取り組む。

## 3・排泄委員会 褥瘡委員会

活動目標（目的）

羞恥心に配慮し体調不良時、身体状況の変化に伴い尿測を実施し個々の現状にあった用品と排泄支援を行う。尿測データを基に先取ケアに取り組む

褥瘡予防に努める

### 〔実績・反省事項〕

排泄に関しては、尿測を実施し個々に合わせた排泄時間、排泄用品で対応しているため、大きな排泄トラブルは無く入居者の快適性に繋がっている。年度末には、膀胱内を可視化できる機器を導入し、より一層根拠のある排泄支援に取り組んでいく。

個別ケアにより、個々の身体状態に合わせた支援が出来ているため、褥瘡になる入居者は無く、今後は一歩踏み込んだスキンケア対策を強化していきたい。

## 4・24シート、記録員会

活動目標（目的）

24シートを活用し、統一した支援により安心した暮らしができる暮らしづくりが分かる記録とケアプラン等と連動している記録にする

### 〔実績・反省事項〕

今年度は、記録システムが変更となり、追加で情報収集しながらデータ移行作業があったがスムーズに変更ができた。新たな24シート作成の基で、普段の支援で統一した支援ができる24シートとなっていた。一覧表をより一層、有効に活用できるよう検討をしていく。

記録に関しては、昨年よりは暮らしづくりが分かる記録になっているし、ケアプランの評価ができるような記録を意識している。

## 5・感染対策委員会 看取り委員会

活動目標（目的）

施設内での感染症を予防し入居者に安心して生活を送っていただく

### 〔実績・反省事項〕

委員会を定期に開催し、地域の感染状況に合わせた柔軟な対応をしたため、施設内において集団感染は無く入居者の安全を確保できた。また、感染症研修を実施し、感染症に対しての知識を浸透させることができた。

## 6・入居判定委員会

活動目標（目的）

入居判定過程の透明性、公平性を確保するとともに、入居の必要性の高い申込者が円滑に入居できること

### 〔実績・反省事項〕

令和6年度の入退居は、新規入居者 11 人、退居者 11 人だった。

すずの里のショートステイをロングで利用しながら、長期入居を待っているケースも多く、11 人中 5 人はショートステイからの移行となった。ロングで利用している待機者は、家庭の事情で在宅生活困難になっているので優先順位が高く、新規入居者の半分を占めることになった。しかし、公平性を保つためにも、居宅支援事業所の介護支援専門員との連携を図り、状況を確認しながら判定会議にかけるようにしている。

## 7・研修委員会

活動目標（目的）

法人にとっての人財となるべく「知識・技術・支援の質」を高める

### 〔実績・反省事項〕

施設内研修を定期に開催し知識と支援の質を高めることができたが、参加できない職員もいるので、開催数を増やすなど参加できる工夫を検討していく

## 8・防災委員会

活動目標（目的）

防災計画に基づいた訓練の実施

施設備品を安全に使用できる

### 〔実績・反省事項〕

日常点検を実施し、日頃から防災意識を高め管理をすることができた  
年 2 回の避難訓練を実施。業者立ち合いにて、受信器類の取り扱い説明、水消火器を使用し消火訓練の実施。職員も真剣に取り組み防災意識を高めることが出来た。  
避難訓練については、もっと危機感を持ち機敏な誘導が必要だと感じた。